

(2面から続く)

○石居 意識して自分の考えを表現するために書くことを他教科でとだけやっていては、まだ不十分である。

○富永 私もそう思う。「書くこと」には先ず材料を集める力が、次に、それを組み合わせる構成力が必要になる。授業を見ると、ただ「書きなさい」と言っていることがある。教員も「こうする」ともって相手に伝わるよ」と意図的に指導していく必要がある。書く授業がマンネリだと、子どもは積極的に取り組まないだろう。

○山口 授業の中で表現することを学び、書くことで、自分が「私はこう感じていたのだ」と気付いたり、「こう考えていくと分かりやすい」というふうな言い伝えやすい」といった、子ども自身の思考が深まっていけばいいと思う。

○富永 子どもがもうちから言葉を広げていくには国語の授業だけでなく、その力を活用する場面が他教科でもあつてほしい。先生方には毎回の授業でぜひそのことを意識してもらいたい。次の場面につなげていくことを意識していかないと、子どもにとって国語はつまらないものになってしまう。活用していく場面をさまざま工夫していく必要がある。

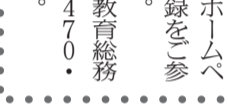
うことが、子どもの生活から著しく減っている。しかし、メールや電話一本で済んでしまうことでも、あえて手紙やはがきに一言書くという行為は、相手を書き残さず、自分も書くことだ。目的は伝えることだけではない、自分の心を表すことだと教えていけば、子どもも積極的に取り組むようになると思う。

○石居 教員は工夫して他教科と関連させることを行っている。一問一答ではない授業にしていくとしている。教員が意識してそういう授業構成をしているか、ふだんから一つの言葉に当たっていく姿勢を見ているかどうかが重要だと思う。

○富永 国語の授業で教えたことを日常生活の中で活用して

教員がどれだけ意識しているかが重要だと思う。例えば、他教科の授業にできるだけ「話し合い」「書くこと」を取り入れていかないと国語力、言語力は伸びていかないだろう。今後は国語だけに収まらず、ほかにも使っている力、育成を意識していかなくてはならない。それをどれだけ学校全体が意識して行っているか、底上げにつながっていくと思う。

総合教育会議を開催しました
平成28年7月1日、市立第六小学校において、「第2回総合教育会議」が開催されました。会議の前に小学5年生の国語の授業を参観後、「市立小学校の児童の国語力向上」を議題に、市長と教育委員が意見交換をしました。続いて、11月7日には、市立西中学校において、「第3回総合教育会議」が開催されました。中学3年生の道徳の授業を参観後、「考え、議論する道徳(特別の教科 道徳)」と「平成29年度当初予算(教育費)」を議題に、市長と教育委員が意見交換をしました。

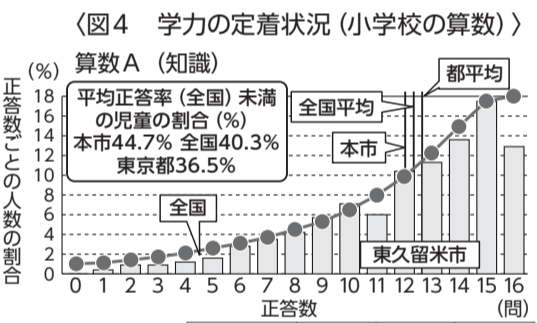


会議の詳細については、市のホームページの議事録をご覧ください。詳しくは教育総務課庶務係 ☎470・7755へ。

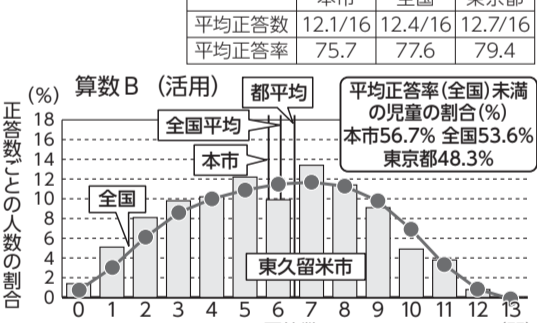
平成28年度 学力調査(全国・市)の結果まとめ

市教育委員会は、平成28年4月に実施した「全国学力・学習状況調査」と市独自の学力調査「確かな学力の伸長を図るための調査」の結果を、市全体及び学校ごとにまとめ、昨年の12月に公表しました。今号では一面に小学校の国語の調査結果を紹介しましたが、ここでは小学校の算数と中学校の数学の「学力の定着状況」と「学力の伸び」についてお知らせします(中学校の国語については、市のホームページを参照願います)。

《学力調査の実施内容》
①全国学力・学習状況調査…【実施日】平成28年4月19日 【対象】小学6年生・中学3年生 【教科】国語、算数・数学 それぞれA(知識)・B(活用)
②確かな学力の伸長を図るための調査…【実施日】平成28年4月12日 【対象】小学校3年生・5年生、中学校1年生・3年生 【教科】国語、算数・数学

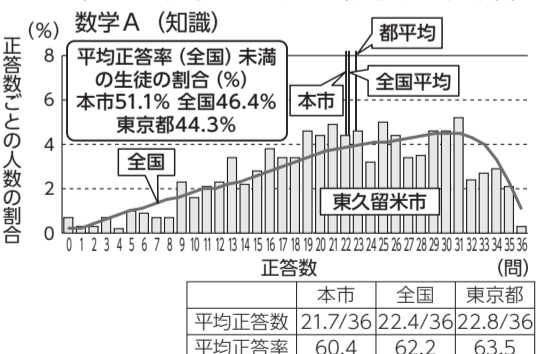


算数A(知識) 平均正答率(全国) 未滿の児童の割合(%) 本市44.7% 全国40.3% 東京都36.5%

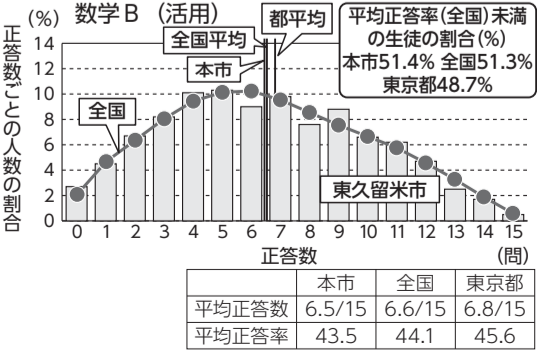


算数B(活用) 平均正答率(全国) 未滿の児童の割合(%) 本市56.7% 全国53.6% 東京都48.3%

〈図4 学力の定着状況(小学校の算数)〉



数学A(知識) 平均正答率(全国) 未滿の生徒の割合(%) 本市51.1% 全国46.4% 東京都44.3%



数学B(活用) 平均正答率(全国) 未滿の生徒の割合(%) 本市51.4% 全国51.3% 東京都48.7%

〈図5 学力の定着状況(中学校の数学)〉

《小学校算数の全国学力・学習状況調査による学力の定着状況の概要》(図4)

算数Aは正答数の多い層が厚く、算数Bは幅広く分布しており、正答数が少ない層が厚い。平均正答率は、全ての調査で全国平均及び都平均を下回っている。平均正答率(全国)未滿の児童の割合は、全国に比べ算数Aが4.4ポイント多い、算数Bは3.1ポイント多い。

《算数の課題(全国平均より下回っている課題のうち顕著なもの)》「除数と被除数に同じ数をかけても商は変わらないことを理解する」「単位量当たりの大きさの求め方を理解する」「小数の除法の計算をすることが出来る」「示された説明を解釈し、用いられている

《数学の課題(全国平均より下回っている課題のうち顕著なもの)》「約数と公約数」「メートル法・体積」「資料の読み取り」などに課題が見られる。《中学校の「確かな学力の伸長を図るための調査」結果の概要》

平成26年度中学1年生では、全国平均値100を1.2ポイント下回っていた。平成28年度中学1年生でも0.6ポイント下回ったものの、2か年で1.1ポイント上昇した。

《算数の課題(全国平均より下回っている課題のうち顕著なもの)》「多項式の次数」「一次関数」「直角三角形の合同条件」等に課題が見られる。調査の結果等詳細については市及び各校のホームページをご覧ください。

3ポイント下回り、2か年で1.1ポイント下降した。

《数学の課題(全国平均より下回っている課題のうち顕著なもの)》「具体的な事象における数量の関係を捉え、比例式をつくる」「具体的な事象における2つの数量の関係が、反比例の関係になることを理解している」「資料を整理した表から最頻値を読み取る」「反比例のグラフから式を求める」「一次関数の式から変化の割合を求める」等に課題が見られる。

《算数の課題(全国平均より下回っている課題のうち顕著なもの)》「約数と公約数」「メートル法・体積」「資料の読み取り」などに課題が見られる。《中学校の「確かな学力の伸長を図るための調査」結果の概要》

平成26年度中学1年生では、全国平均値100を1.2ポイント下回っていた。平成28年度中学1年生でも0.6ポイント下回ったものの、2か年で1.1ポイント上昇した。

《算数の課題(全国平均より下回っている課題のうち顕著なもの)》「多項式の次数」「一次関数」「直角三角形の合同条件」等に課題が見られる。調査の結果等詳細については市及び各校のホームページをご覧ください。

3ポイント下回り、2か年で1.1ポイント下降した。

《算数の課題(全国平均より下回っている課題のうち顕著なもの)》「約数と公約数」「メートル法・体積」「資料の読み取り」などに課題が見られる。《中学校の「確かな学力の伸長を図るための調査」結果の概要》

平成26年度中学1年生では、全国平均値100を1.2ポイント下回っていた。平成28年度中学1年生でも0.6ポイント下回ったものの、2か年で1.1ポイント上昇した。

第13回 市民つなひき大会

みんなでいい汗かこう!

冬真ただ中の2月18日、今回で13回目の「市民つなひき大会」を開催します。「運動会の綱引き」とは異なり日本綱引連盟公認ロープとレーンマットを使用し、1チーム8人で引き合います。公認審判資格を取得した審判員が、本格的な試合裁きを行います。チームの体重制限はありません!奮ってご参加ください。

【日時】2月18日(土)午前9時開会 【会場】スポーツセンター第1体育室 【対象】市内在住・在勤・在学・在クラブの方 【部門】①未就学児(3歳以上)の部、②小学1・2年生の部、③小学3・4年生の部、④小学5・6年生の部、⑤中学生の部、⑥一般男子の部、⑦一般女子の部、⑧一般男女混合の部(中学生以上)、⑨一般男女混合の部(60歳以上)。*部門⑧・⑨は試合中男性4人まで。部門⑤から⑧までは重複エントリー可 【チーム編成】1チーム8人(登録は13人まで) 【参加費】一般200円、中学生以下100円(1人当たり。保険代等) 【申し込み】2月6日(月)までに参加申込書に必要事項を記入の上、ファックス(470・2688)または封書で、〒203-0011、大門町2-14-37、スポーツセンターあて郵送を。*参加申込書は市ホームページから取得できます。詳しくは生涯学習課スポーツ振興係 ☎470・7784へ。